令和３年１０月１日

保護者の皆様（家庭数配布）

西東京市立谷戸第二小学校
校　長　　鈴木　優介

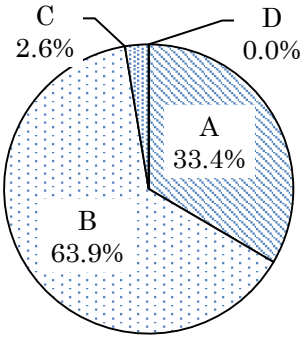
令和３年度　前期学校評価アンケートの結果

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。さて、７月末にご回答いただきました学校評価のお礼とご報告をいたします。この結果は、保護者の皆様からの貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。なお、本校のホームページにも公開しますので、ご覧ください。

１　保護者アンケートの結果

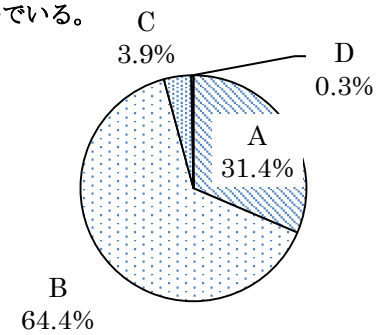
（　Ａ＝とてもそう思う　Ｂ＝そう思う　Ｃ＝あまりそう思えない　Ｄ＝そう思えない　）

１　学校は、児童の学習規律を確立し、基礎学力の定着を図っている。



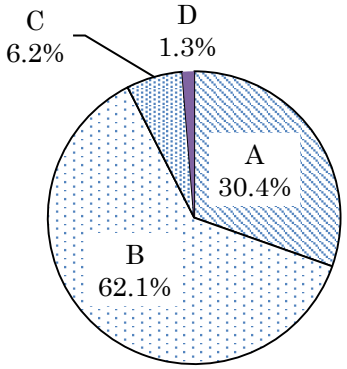
Ａ・Ｂ合わせて９７％以上の高い評価をいただきました。新型コロナウィルス感染流行の関係で、様々な制限はありますが、児童全員が安心して心身ともに充実した学習活動に取り組めるよう、今後も家庭と連携しながら教職員一丸となって努めてまいります。

２　学校は、児童の規範意識の向上を目指し、適切なあいさつや言葉遣いなどの礼儀を身に付けられるよう、学習・生活指導に取り組んでいる。



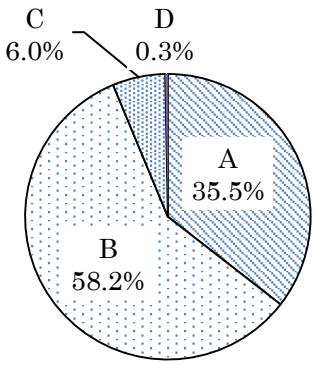
Ａ・Ｂ合わせて９５％以上と高い評価をいただきました。新型コロナウイルス感染拡大を受け、制限がある中でもできる「あいさつ週間ポスター」の作成など、礼儀を身に付けるための取り組みを充実させました。引き続き、児童の規範意識の向上を目指し、よりよい指導ができるよう努めてまいります。

３　学校は、思いやりのある児童の育成に努め、いじめの未然防止、早期発見に取り組んでいる。



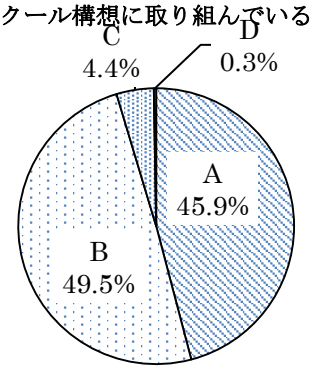
Ａ・Ｂ合わせて９２％の高い評価をいただきました。新型コロナウイルス感染流行の影響で、子供たち自身にかかるストレスも大きくなっていることが考えられます。今後も、子供たちの心のケアを大切にしながら、思いやり溢れる教育活動を目指していきます。

４　学校は、兄弟学級を中心とした異学年交流等を通して、児童と児童、児童と教師のかかわりを重視した教育活動に取り組んでいる。



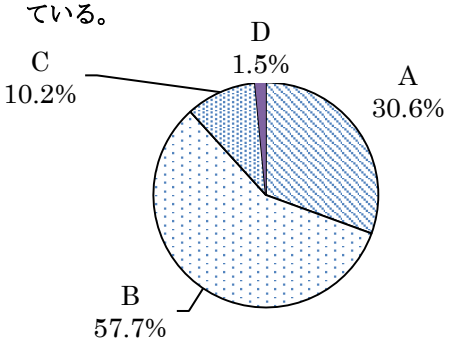
Ａ・Ｂ合わせて、93%の高い評価をいただきました。新型コロナ感染防止対策を行い、谷戸二子どもまつりやなかよし班活動など、異学年交流を行いました。今後も児童同士、教師とのかかわりを大切に、教育活動に取り組んでいきます。

５　学校は、タブレットを活用し、西東京市ＧＩＧＡスクール構想に取り組んでいる。



Ａ・Ｂ合わせて９５％以上の評価をいただきました。教員一同、試行錯誤しながらタブレットを活用しています。９月はオンライン授業となり、より一層工夫しながら取り組んでいるところです。情報モラルについても合わせて指導していきます。

６　学校は、保護者や地域の方々にボランティアやゲストティーチャーを依頼したり、学校公開・ホームページ・メール配信を使ったりして、地域に開かれた教育活動を実施している。



Ａ・Ｂ合わせて８７％以上の評価をいただきました。今年度も三密防止の為、例年通りの学校公開は行えない予定です。その分ホームページの更新やメール配信等で開かれた教育活動を実施していきます。

２　保護者アンケートの分析

今年度もコロナ禍のため、昨年度までの質問内容と変更しています。そのため、前年度と一部比較することはできませんでした。しかし、今回のアンケートも、全ての項目で「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて約９割に達するという評価をいただきました。

「あまりそう思えない」「そう思えない」と評価いただいたところがある部分については、謙虚に受け止め、学校運営の工夫・改善に努めてまいります。

３　児童対象アンケートの結果

評価 ４　そう思う　３　だいたいそう思う　２　あまりそう思わない　１　そう思わない	４	３	２	１
①　あなたは、授業が始まる前に、きちんと座り、学習の準備を整えられましたか。	31%	51%	13%	5%
②　あなたは、楽しく、意欲的に授業や学習に取り組めていますか。	47%	37%	12%	4%
③　あなたは、あいさつをしたり、言葉遣いに気を付けたりして生活できましたか。	47%	37%	12%	4%
④　あなたは、気持ちよく学校生活を送るために、きまりやルールを守ろうと心がけましたか。	52%	36%	7%	5%
⑤　あなたは、自分や友達の命や心を大切にしていますか。	74%	20%	5%	1%
⑥　授業では、自分の思いや考えをノートに書いたり、友達と話し合ったり、発表できましたか。	45%	34%	16%	5%
⑦　いいところや頑張ったことを先生や友達同士で認め合ったり、褒め合ったりしましたか。	38%	39%	16%	7%
⑧　あなたは、きまりを守って、すすんでタブレットを活用することができましたか。	69%	23%	6%	2%

４　児童アンケートの分析

８項目全てにおいて８割から９割の児童が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えています。これは、学校生活の多くの場面で満足傾向にあると捉えられます。特に⑤の項目「生命の尊重」については９４％の児童が「思う」と評価しており、「特別の教科　道徳」などの授業をはじめ、学校生活の中で他者を思いやって関わることができているものと考えます。

しかし、およそ２０％、児童が「ややそうおもう」「おもわない」としている項目⑥や⑦については、友達との対話など工夫したり、タブレットなどを活用を工夫したりしていきたいと思います。

５ 学校評価のまとめについて

この評価の結果を受けて、学校教職員で話合いを深めるとともに、学校運営連絡協議会委員による学校関係者評価委員会にて討議していただくことになります。学校としての特色は２学期も充実させ、教育活動に反映させていきます。今後の課題と判断されるものについては、具体的な対応を進めてまいります。

６ 保護者からのご意見について

・コロナ禍でも工夫して教育活動を行っていただきありがとうございます。クラス便りやホームページなどを通して学校の様子が分かり、子どもとの会話が弾みます。

⇒今後も学校の様子が伝わる発信に努めます。

・季節が変わるたびに校門の横の花壇に綺麗な花など手入れありがとうございます。学校まわりも枯葉やゴミ清掃が行き届いていること感謝します。

⇒内外清掃員さんや用務さんにも嬉しいお言葉です。

・タブレットを使い宿題が出るなど、とても楽しく、学習の復習ができることに本人が喜んでいます。タブレットを使って先生の問いかけに返答する、また、みんなの意見が見えるというのも本人の刺激となっているようです。先生の学級通信や学校のＨＰに載っている学校の様子も楽しい様子がよくわかりありがたいです。いつもありがとうございます。

・大小にかかわらず、疑問点や問題点を子供に対しヒヤリングして、解決しようとしてくださる（何かあったときに）先生がいてくれて安心です。

・感染症対策をしていただき、その中で運動会、谷戸二子ども祭り、社会科見学、水泳授業等、昨年実施できなかったことを行っていただけ、子供たちの達成感、満足感、楽しかった思い出は、心と身体の成長につながっているのだと改めて感じることができました。制限がある中、先生方は大変だと思います。子ども達のためにありがとうございます。

・毎日タブレットを持ち帰る必要性がわかりません。ほかの小学校と同様に週末だけにしていただきたい。梅雨の時期タブレットが濡れないか心配になります。

⇒毎日の持ち帰りは市の方針に従っております。自主的に学習を進められるコンテンツなども多く入っていますのでご活用いただければと思います。雨が強くて心配な場合は担任からも声掛けをして置いていくこともあります。臨機応変に対応してまいります。

・コロナ禍で何かと制限が多いことは承知していますが、何らかの形で日頃の学校での様子がわかる機会を設けていただけると幸いです。

⇒再開後には工夫した形で参観の機会を設けたいと考えています。

・絵本の読み聞かせを復活させてほしい。新しい生活様式の中でも、工夫して行いたい。

⇒読み聞かせの動画を作成して子供たちに見せています。図書ボランティアの有志の方や、図書委員会が中心となって動画を作成しています。

・学校便り、学年便りと内容が重複していたり、内容が異なったりしている。

⇒ご迷惑をおかけいたしました。学年間、学校間で確認を徹底していきます。

・検温カードで、１日２回体温を測るのが負担。他校では１回のところもあるので、なぜ２回なのか教えてほしい。

⇒感染対策についてより丁寧に、より詳細に取り組んでいるため、コロナ禍の期間はご理解とご協力をお願いします。また、検温の習慣をつけ日常化するためにもお願いします。

・学校からのお便りが手元に届かないことが多いので、ＨＰにアップしてほしい。手紙を配布せずに保護者がＨＰをチェックして各自必ず確認できるようになるとありがたい。

⇒学年便りなどは学校ＨＰに掲載できるよう努力して参ります。また、オンライン期間中、最低限のものはＨＰに載せましたのでご活用ください。ご家庭で印刷できない方の配慮、オープンにできない情報もあるので、紙での配布を継続していくものもありますのでご了承ください。

・時差登校があまり守られていないと聞くので、低学年が先に登校した方が安全面でもよいのかなと思います。

⇒委員会や専科の授業があるため、高学年が先に登校しています。